

中国の文化Ⅸ 第13回

# 北宋時代(中)

三国志の誕生

## 俗文学Ⅱ庶民文学の時代へ

日本で藤原氏一門が権勢を極めていた平安時代、中国では唐宋変革期を経て、貴族の時代から庶民の時代へと時代は移っていた。

文学の主体も貴族から庶民に代わり、詞の隆盛や本格的な演劇の誕生とともに、史書を素材として語る「説古話」と呼ばれる歴史講釈が人氣を博していた。

「説古話」は、日本の琵琶法師が語った『平家物語』と同様、仏教思想の影響を強く受けながら、書籍出版の発展ともあいまって、仏教の絵解き講釈を模した挿絵本として出版された。その一つが元代に刊行された『全相平話三国志』である。

明代、モンゴル人の支配を脱した漢民族は、外来の仏教思想を排して、民族の伝統思想である儒教を基にこの物語の改編を行った。こうして誕生したのが、中国の俗文学を代表する『三国志演義』である。

第四節

# 三国志の誕生

俗文学時代の開幕

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



中国の三国時代は日本の何時代？

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

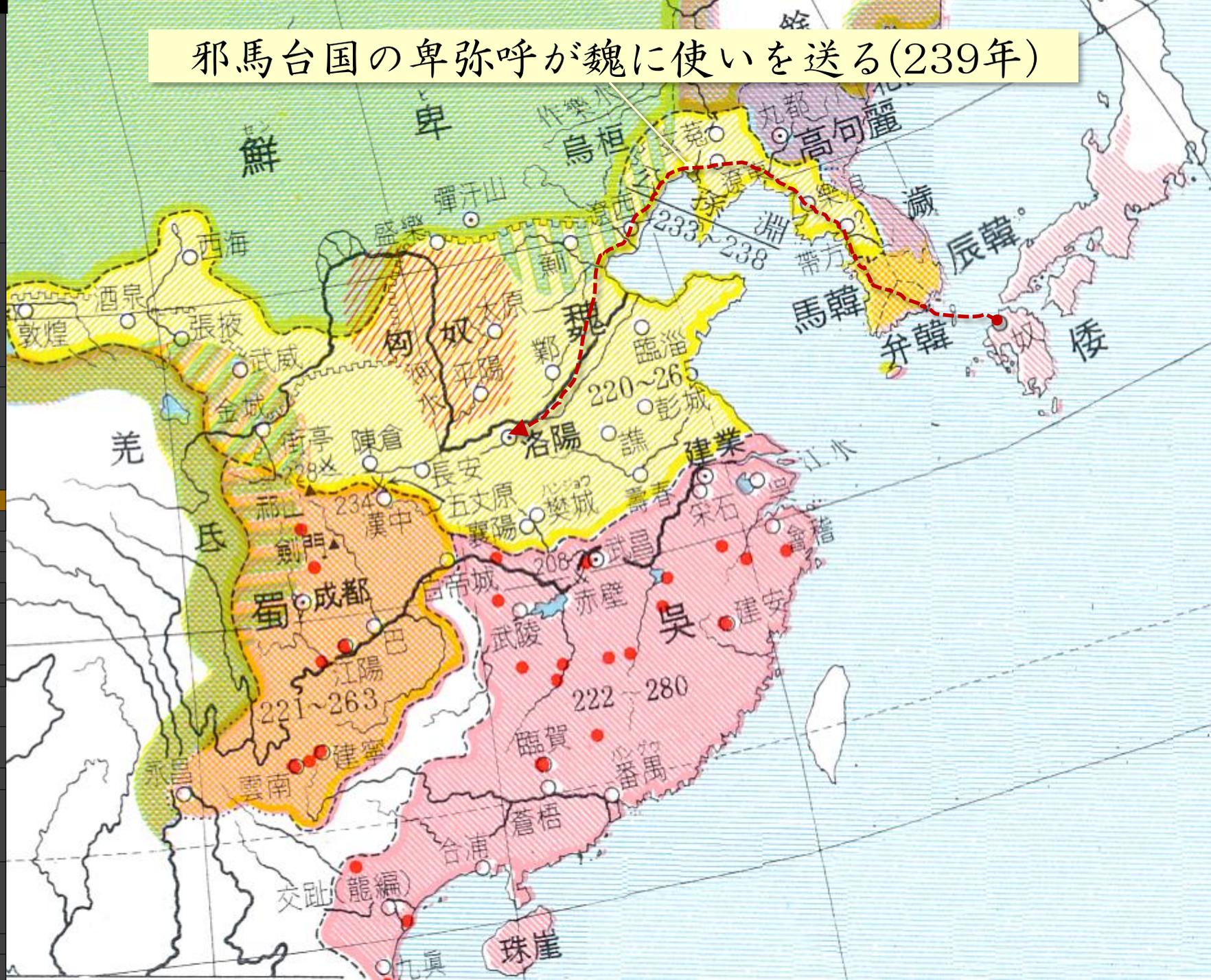
明 1368-1644

清 1616-1912

中華民國 1912-1949

中華人民共和國 1949-

邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送る(239年)



弁辰傳

弁辰與辰韓雜居亦有城郭衣服居處與辰韓同  
言語法俗相似祠祭鬼神有異施竈皆在戶西其  
瀆盧國與倭接界十二國亦有王其人形皆大衣  
服絜清長髮亦作廣幅細布法俗特嚴峻

倭人傳

倭人在帶方東南大海之中依山島為國邑舊百  
餘國漢時有朝見者今使譯所通三十國從郡至  
倭循海岸水行歷韓國尔南尔東到其北岸狗邪  
韓國七千餘里始度一海千餘里至對海國其大

弁辰 倭人

官曰卑狗副曰卑奴母離所居絕島方可四百餘  
里土地山險多深林道路如禽鹿徑有千餘戶無  
良田食海物自活乘船南北市糴又南渡一海千

餘里名曰瀚海至一大國官亦曰卑狗副曰卑奴  
母離方可三百里多竹木叢林有三千許家差有  
田地耕田猶不足食亦南北市糴又渡一海千餘  
里至末盧國有四千餘戶濱山海居草木茂盛行  
不見前人好捕魚鮓水無深淺皆沉沒取之東南  
陸行五百里到伊都國官曰爾支副曰泄謨觚柄  
渠觚有千餘戶世有王皆統屬女王國郡使往來

三國志魏志倭人傳 (宮內庁書陵部蔵)

人壽考或百年或八九十年其俗國大人皆四五婦下戶或二三婦婦人不淫不妬忌不盜竊少諍訟其犯法輕者沒其妻子重者沒其門戶及宗族尊卑各有差序足相臣服收租賦有邸閣國國有市交易有無使大倭監之自女王國以北特置一大率檢察諸國畏憚之常治伊都國於國中有如刺史王遣使詣京都帶方郡諸韓國及郡使倭國皆臨津搜露傳送文書賜遺之物詣女王不得差錯下戶與大人相逢道路逡巡入草傳辭說事或蹲或跪兩手據地爲之恭敬對應聲曰噫比如然諾

倭人

其國本亦以男子爲王任七八十年倭國亂相攻伐歷年乃共立一女子爲王名曰卑彌呼事鬼道能惑衆年已長大無夫婿有男弟佐治國自爲王以來少有見者以婢千人自侍唯有男子一人給飲食傳辭出入居處宮室樓觀城柵嚴設常有人持兵守衛女王國東渡海千餘里復有國皆倭種又有侏儒國在其南人長三四尺去女王四千餘里又有裸國黑齒國復在其東南船行一年可至參問倭地絕在海中洲島之上或絕或連周旋可五千餘里景初二年六月倭女王遣大夫難升米

等詣郡求詣天子朝獻太守劉夏遣吏將送詣京  
都其年十二月詔書報倭女王曰制詔親魏倭王  
卑彌呼帶方太守劉夏遣使送汝大夫難升米次  
使都市牛利奉汝所獻男生口四人女生口六人  
班布二匹二丈以到汝所在踰遠乃遣使貢獻是  
汝之忠孝我甚哀汝今以汝為親魏倭王假金印  
紫綬裝封付帶方太守假授汝其綬撫種人勉為  
孝順汝來使難升米牛利涉遠道路勤勞今以難  
升米為率善中郎將牛利為率善校尉假銀印青  
綬引見勞賜遣還今以絳地交龍錦五匹

倭人

臣松之  
以為地

雁為絳漢文帝著自表謂之弋絳是也  
此字不體非魏朝之失則傳寫者誤也絳地縹栗劉十

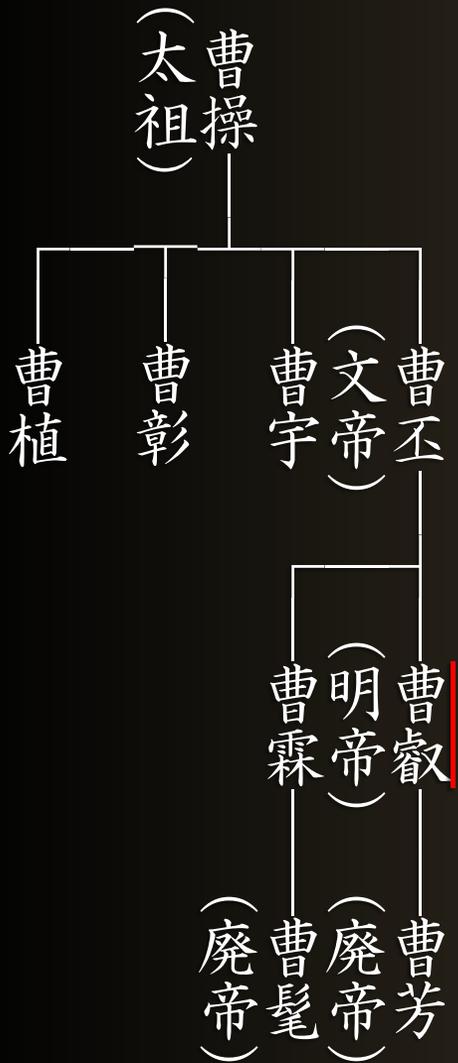
張倩絳五匹紺青五匹荅汝所獻貢直又特  
賜汝紺地白文錦三匹細班華剝五張白絹五十  
匹金八兩五尺刀一口銅鏡百枚真珠鉛丹各五  
十斤皆裝封付難升米牛利還到錄受悉可以示  
汝國中人使知國家哀汝故鄭重賜汝好物也正  
始元年太守弓遵遣建中校尉梯儁等奉詔書印  
綬詣倭國拜假倭王并齎詔賜金帛錦剝刀鏡采  
物倭王因使上表荅謝詔恩其四年倭王復遣使  
大夫伊聲耆耜掖邪拘等八人上獻生口倭錦絳青

三國志魏志倭人傳 (宮內庁書陵部蔵)



島根県の神原(かんばら)神社古墳から出土した魏の景初三年(二三九年)の銘のある三角縁神兽鏡

【魏王朝系図】



## 俗文学Ⅱ庶民文学の誕生

唐宋变革期を経て、庶民の時代を迎えた中国では、民間の語り物を口述筆記したり、その口調を模して書かれた「白話小説」が出版され、人氣を呼んでいた。『三国志演義』もその一つである。

無味乾燥な史実を記しただけの正史『三国志』は、どのようにして中国の俗文学を代表する『三国志演義』へと発展したのか。

今回の講義では、魏の曹操の物語を例に『三国志演義』誕生までの歴史を考えてみたい。





## 三国志演義の梗概(一)

ときは後漢の末。張角の率いる黄巾の乱が全国を席卷していた。

そんな中、三人の英雄が登場する。

劉備、関羽、張飛である。三人は義兄弟の契りを結ぶと(桃園三結義)、各地を転戦して乱の平定に功をあげる。

ところが、乱の平定後に行われた論功行賞では、平民出身の彼らには十分な恩賞は与えられなかった。

その後、劉備は県尉という末端の官職を与えられるが、中央から巡察に来た督郵の不正に腹を立て、官職を捨ててしまう。(打督郵)

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中华民国 1912-1949

中华人民共和国 1949-



黄巾の乱が全国を席卷(184年)

## 三国志演義の梗概(二)

そのころ、朝廷内では宦官と外戚の権力争いが頂点に達し、やがて朝廷の実権は董卓という人物に握られてしまう。

ここにもう一人の英雄が登場する。後に魏の高祖となる曹操である。曹操は董卓の暗殺を企てるが、失敗し、都を出て故郷へと逃亡する。

逃亡の途中、曹操は中牟の県令・陳宮に捕らえられるが、曹操の朝廷への忠心に心打たれた陳宮は、官を捨てて曹操と行動をともにする。(捉放曹)







### 三国志演義の梗概(三)

曹操と陳宮の二人は、追跡を逃れるため、曹操の父親と義兄弟の契りを結んでいた呂伯奢の家にも身を寄せた。しかし猜疑心の強い曹操は、自らの身を守るため、呂伯奢一家を皆殺しにしてしまう。曹操の冷酷さに失望した陳宮は曹操と袂を分かたず。

(捉放曹)



西曆189年  
成臯<sup>せいこう</sup>県



三國志

三国志演義の中で、曹操という人間の冷酷さを強く印象付けるのが、この呂伯奢一家惨殺事件であるが、これは正史の三国志の中に記述されているのだろうか？



1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265   蜀 221-263   呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代   東晋 317-420

北朝 439-589   南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼   北宋 960-1127

金 1115-1234   南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

# 正史から小説へ

西晋の陳寿が正史『三国志』を著す



中国の正史 二十四史 (二十五史)

史記

漢書

後漢書

三国志(魏書、吳書、蜀書)

晋書

北史

魏書

南史

宋書

南齊書

梁書

陳書

周書

北齊書

隋書

旧唐書

新唐書

旧五代史

新五代史

遼史

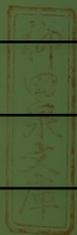
金史

宋史

元史 (新元史)

明史

三國志



刺史郡守以叛。眾十餘萬。天下騷動。徵太祖爲典軍校尉。會靈帝崩。太子卽位。太后臨朝。大將軍何進與袁紹謀誅宦官。太后不聽。進乃召董卓。欲以脅太后。魏書曰太祖聞而笑之曰闔豎之言古今宜有但世主不何必紛紛召外將乎欲盡誅之事必宣露吾見其敗也卓未至而進見殺。卓到廢帝爲弘農王而立獻帝。京都大亂。卓表太祖爲驍騎校尉。欲與計事。太祖乃變易姓名。聞行東歸。魏書曰太祖以卓終必覆敗遂不就拜逃歸鄉里從數騎過故人成臯呂伯奢伯奢伯奢出行五子皆在備賓主禮太祖自以背卓命疑其圖己手劍夜殺八人而去孫盛雜記曰太祖聞其食器聲以爲圖己遂夜殺之既而懷槍曰蓋我負人無人負我遂行出關過中牟爲亭長所疑。執詣縣邑中。或竊識之。爲請得解。世語曰中牟人見拘於縣時掾亦已被卓書唯功曹心知是太祖以世方亂不宜拘天下雄雋因自令釋之卓遂殺太后及弘農王。太祖至陳留。散家財。合義兵。將以誅卓。冬十二月。始起兵於己吾。世語曰陳留孝廉衛茲以家財資太祖使起兵是歲中平六年也。衆有五千人

(晋) 陳寿『三国志』(大きな字の部分)

無味乾燥な正史の記述

時冀州民人殷盛兵糧優足袁紹之在渤海般恐其興兵遣數部從事守之不得動搖東郡太守橋瑁詐作京師三公移書與州郡陳卓罪惡云見逼迫無以自救企望義兵解國患難得移請諸從事問曰今當助袁氏邪助董卓邪治中從事劉子惠曰今與兵爲國何謂袁董自矜言短而有慙色子惠復言兵者凶事不可爲首今宜往視他州有發動者然後和之冀州於他州不爲弱也他人功未首在冀州之口者也

董卓は帝を廢して弘農王とし、新たに獻帝を立てた。このため都は大混乱となった。董卓は太祖(曹操)を驍騎校尉に抜擢し、ともに事に当らせようとした。太祖は名を隠して、密かに東に帰ろうとした。関所を出て中牟を過ぎたころ、亭長に捕らえられ、県の役所に連行された。しかし太祖と気づいた人の計らいで、釈放された。

『三国志演義』に描かれた呂伯奢一家惨殺事件は、どのような資料に基

づいているのか？  
女皆殺之殺死八口搜至厨下見縛一猪欲殺靜軒有詩

夜深喜識故人容正還寄舊蹤一念誤將良善戮  
方知曹操是奸雄

陳宮曰孟德心多誤殺好人操曰可急上馬二人行不到  
二里見呂伯奢驢鞍前鞵懸酒二瓶手抱果木而來伯奢

三國志

第四回

九

叫曰賢姪何故便去操曰被獲之人不敢久住伯奢曰吾  
已分付宰一猪相款使君何憎一宿操不顧策馬使行又  
不到數步操拔劍復回叫伯奢曰此來者何人伯奢回頭  
看時操將呂伯奢砍於驢下宮曰恰纔誤耳今何故也操  
曰伯奢到家見殺死親子安肯罷耶吾等必遭禍矣宮曰  
非也知而故殺大不義也操曰寧使我負天下人休教天

開此口

人有此心不能人人

下人負我陳宮默然曹操說出這兩句言語教萬代人罵  
當夜陳宮行數里月明中敲開店門投宿先喂飽了馬匹  
操先睡陳宮尋思我將謂曹操是好人棄官跟將他來原  
是狼心狗倖之徒今日留之必為後患拔劍來殺曹操性

命如何

# 正史から小説へ

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

西晋の陳寿が正史『三国志』を著す

南朝宋の裴松之が正史『三国志』に注をつける

刺史郡守以叛眾十餘萬天下騷動徵太祖爲典軍校尉會靈帝崩太子卽位太后臨朝大將軍何進與袁紹謀誅宦官太后不聽進乃召董卓欲以脅太后魏書曰太祖聞而笑之曰鬪豎之官古今宜有但世主不何必紛紛召外將乎欲盡誅之事必宜露吾見其敗也卓未至而進見殺卓到廢帝爲弘農王而立獻帝京都大亂卓表太祖爲驍騎校尉欲與計事太祖乃變易姓名魏書曰太祖以卓終必覆敗遂不就拜逃歸鄉里從數騎過故人成阜曰伯奢伯聞行東歸奢不在其子與賓客共劫太祖取馬及物太祖手刃擊殺數人世語曰太祖過伯奢伯奢出行五子皆在備賓主禮太祖自以背卓命疑其圖己手劍夜殺八人而去盛雜記曰太祖聞其食器聲以爲圖己遂夜殺之既而懷槍曰蓋我負人無人負我遂行出關過中牟爲亭長所疑執詣縣邑中或竊識之爲請得解世語曰中牟人見拘於縣時掾亦已被卓書唯功曹心知是太祖以世方亂不宜拘天下雄雋因自令釋之卓遂殺太后及弘農王太祖至陳畱散家財合義兵將以誅卓冬十二月始起兵於己吾世語曰陳畱孝廉衛效以家財資太祖使起兵是歲中平六年也衆有五千人

時冀州民人殷盛兵糧優足袁紹之在渤海般恐其興兵遣數部從事守之不得動搖東郡太守橋瑁詐作京師三公移書與州郡陳卓罪惡云見逼迫無以自救企望義兵解國患難得移請諸從事問曰今當助袁氏邪助董卓邪治中從事劉子惠曰今興兵爲國何謂袁董腹自矜言短而有慙色子惠復言兵者凶事不可爲首今宜往視他州有發動者然後和之冀州於他州不爲弱也他人功未有在冀州之右者也覆然豫州刺史孔佃英雄記曰佃字公緒陳留人張之腹乃作書與紹道卓之惡聽其舉兵兖州刺史劉岱英雄記曰岱字公緒河內太守王匡英雄記曰匡字公節

# 豊富なエピソードを集めた注釈

## 〔解説〕

晋の陳寿が正史『三国志』を編纂してから百年あまり後、南朝宋の裴松之が注釈をつけた。この注釈には当時流行していた「志人小説」（実在の人物にまつわるエピソード）が数多く引用され、正史に登場する人物の人間性を生きいきと伝えている。

(晋)陳寿の正史『三国志』につけられた(南朝宋)裴松之の注

刺史郡守以叛。眾十餘萬。天下騷動。徵太祖爲典軍校尉。會靈帝崩。太子卽位。太后臨朝。大將軍何進與袁紹謀誅宦官。太后不聽。進乃召董卓。欲以脅太后。魏書曰太祖聞而笑之曰闔豎之言古今宜有但世主不何必紛紛召外將乎欲盡誅之事必宣露吾見其敗也卓未至而進見殺。卓到廢帝爲弘農王而立獻帝。京都大亂。卓表太祖爲驍騎校尉。欲與計事。太祖乃變易姓名。聞行東歸。魏書曰太祖以卓終必覆敗遂不就拜逃歸鄉里從數騎過故人成臯呂伯奢伯奢伯奢出行五子皆在備賓主禮太祖自以背卓命疑其圖己手劍夜殺八人而去孫盛雜記曰太祖聞其食器聲以爲圖己遂夜殺之既而懷槍曰蓋我負人無人負我遂行出關過中牟爲亭長所疑。執詣縣邑中。或竊識之。爲請得解。世語曰中牟人見拘於縣時掾亦已被卓書唯功曹心知是太祖以世方亂不宜拘天下雄雋因自令釋之卓遂殺太后及弘農王。太祖至陳留。散家財。合義兵。將以誅卓。冬十二月。始起兵於己吾。世語曰陳留孝廉衛茲以家財資太祖使起兵是歲中平六年也。衆有五千人

(晋) 陳寿『三国志』(大きな字の部分)

無味乾燥な正史の記述

時冀州民人殷盛兵糧優足袁紹之在渤海般恐其興兵遣數部從事守之不得動搖東郡太守橋瑁詐作京師三公移書與州郡陳卓罪惡云見逼迫無以自救企望義兵解國患難得移請諸從事問曰今當助袁氏邪助董卓邪治中從事劉子惠曰今與兵爲國何謂袁董自矜言短而有慙色子惠復言兵者凶事不可爲首今宜往視他州有發動者然後和之冀州於他州不爲弱也他人功未百在冀州之功者已倍然

董卓は帝を廢して弘農王とし、新たに獻帝を立てた。このため都は大混乱となった。董卓は太祖(曹操)を驍騎校尉に抜擢し、ともに事に当らせようとした。太祖は名を隠して、密かに東に帰ろうとした。関所を出て中牟を過ぎたころ、亭長に捕らえられ、県の役所に連行された。しかし太祖と気づいた人の計らいで、釈放された。

刺史郡守以叛眾十餘萬天下騷動徵太祖為典軍校尉會靈帝崩太子即位太后臨朝大將軍何進與袁紹謀誅宦官太后不聽進乃召董卓欲以脅太后魏書曰太祖聞而笑之曰闔豎之官古今宜有但世主不何必紛紛召外將乎欲盡誅之事必宜露吾見其敗也卓未至而進見殺卓到廢帝為弘農王而立獻帝京都大亂卓表太祖為驍騎校尉欲與計事太祖乃變易姓名魏書曰太祖自以背卓命疑其圖己手劍夜殺八人而去孫伯奢伯奢出行五子皆在備賓主禮太祖自以背卓命疑其圖己手劍夜殺八人而去盛雜記曰太祖聞其食器聲以為圖己遂夜殺之既而懷槍曰蓋我負人無人負我遂行出關過中牟為亭長所疑執詣縣邑中或竊識之為請得解世語曰中牟人見拘於縣時掾亦已被卓書唯功曹心知是太祖以世方亂不宜拘天下雄雋因自令釋之卓遂殺太后及弘農王太祖至陳留散家財合義兵將以誅卓冬十二月始起兵於己吾世語曰陳留孝廉衛茲以家財資太祖使起兵是歲中平六年也眾有五千人

時冀州民人殷盛兵糧優足袁紹之在渤海殺惡其興兵遣數部從事守之不得動搖東郡太守橋瑁詐作京師三公移書與州郡陳卓罪惡云見逼迫無以自救企望義兵解國患難得移請諸從事問曰今當助袁氏邪助董卓邪治中從事劉子惠曰今與兵為國何謂袁董腹自矜言短而有慙色子惠復言兵者凶事不可為首今宜往視他州有發動者然後和之冀州於他州不為弱也他人功未有在冀州之右者也覆然豫州刺史孔佃英雄記曰佃字公緒陳留人張之腹乃作書與紹道卓之惡聽其舉兵漢紀載鄭泰說卓云孔公緒能清談高論

裴松之注が伝える曹操の人間像

『世説新語』にいう。太祖が伯奢の家を通りかかったとき、伯奢はちようと外出していたが、五人の息子たちが客として歓待してくれた。

太祖は董卓の命に背いたため、自分が狙われているのではないかと疑い、夜になると手にした剣で八人を殺して去った。

(南朝宋) 裴松之注



テレビドラマ三国志の中で、曹操は呂伯奢一家を惨殺した後、

「寧肯我負天下人 休教天下人負我」

(たとえ人を裏切ることがあっても人に裏切られてなるものか)

と、その冷酷さを表すセリフを吐いているが、彼は本当にそんなこと言ったのか？

叫曰賢姪何故便去操曰被獲之人不敢久住伯奢曰吾已分付宰一猪相款使君何憎一宿操不顧策馬便行又不到數步操拔劍復回叫伯奢曰此來者何人伯奢回頭看時操將呂伯奢砍於驢下宮曰恰纔誤耳今何故也操曰伯奢到家見殺死親子安肯罷耶吾等必遭禍矣宮曰非也知而故殺大不義也操曰寧使我負天下人休教天下人負我陳宮默然曹操說出這兩句言語教萬代人罵當夜陳宮行數里月明中敲開店門投宿先喂飽了馬匹操先睡陳宮尋思我將謂曹操是好人棄官跟將他來原

命如何

總評

丁○管○伍○孚○是○個○漢○子○然○死○而○無○益○以○謀○之○不○遠○發○之○太○驟○耳○若○本○初○一○書○孟○德○數○語○侃○侃○正○言○幾○微○旨○密

### 『三国志演義』の曹操の言葉

「寧使我負天下人 休教天下人負我」

(たとえ人を裏切ることがあっても、人に裏切られてなるものか)

(明)李卓吾先生批評『三国志』第四回

刺史郡守以叛眾十餘萬天下騷動徵太祖為典軍校尉會靈帝崩太子即位太后臨朝大將軍何進與袁紹謀誅宦官太后不聽進乃召董卓欲以脅太后魏書曰太祖聞而笑之曰鬪豎之言古今宜有但世主不何必紛紛召外將乎欲盡誅之事必宣露吾見其敗也卓未至而進見殺卓到廢帝為弘農王而立獻帝京都大亂卓表太祖為驍騎校尉欲與計事太祖乃變易姓名魏書曰太祖以卓終必覆敗遂不就拜逃歸鄉里從數騎過故人成阜曰伯奢伯聞行東歸奢不在其子與賓客共劫太祖取馬及物太祖手刃擊殺數人世語曰太祖過伯奢伯奢出行五子皆在備賓主禮太祖自以背卓命疑其圖己手劍夜殺八人而去孫出盛雜記曰太祖聞其食器聲以為圖己遂夜殺之既而懷槍曰蓋我負人無人負我遂行關過中牟為亭長所疑執詣縣邑中或竊識之為請得解世語曰中牟人見拘於縣時掾亦已被卓書唯功曹心知是太祖以世方亂不宜拘天下雄雋因自令釋之卓遂殺太后及弘農王太祖至陳留散家財合義兵將以誅卓冬十二月始起兵於己吾世語曰陳留孝廉衛茲以家財資太祖使起兵是歲中平六年也

初平元年春正月後將軍袁術冀州牧韓馥英雜記曰馥字文節潁川人為御史中丞董卓舉為冀州牧于時冀州民人殷盛兵糧優足袁紹之在渤海殺悉其興兵遣數部從事守之不得動搖東郡太守橋瑁詐作京師三公移書與州郡陳卓罪惡云見逼迫無以自救企望義兵解國患難得移請諸從事問曰今當助袁氏邪助董卓邪治中從事劉子惠曰今與兵為國何謂袁董馥自知言短而有慙色子惠復言兵者凶事不可為首今宜往視他州有發動者然後和之冀州於他州不為弱也他人功未有在冀州之右者也馥然豫州刺史孔佃英雜記曰佃字公緒陳留人張之馥乃作書與紹道卓之惡聽其舉兵豫州刺史孔佃英雜記曰佃字公緒陳留人張之馥乃作書與紹道卓之惡聽其舉兵兗州刺史劉岱英雜記曰岱字公都山陰人河內太守王匡英雜記曰匡字公節秦人

### 裴松之注が伝える曹操の人物像

孫盛『雜記』はいう。

「太祖は食器の音を聞き、自分が狙われているのでは考え、夜になると彼らを殺した。殺した後、悲痛な面持ちで『たとえ人を裏切ることがあっても、人に裏切られてなるものか』といい、その場を立ち去った」

(南朝宋) 裴松之注

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265      蜀 221-263      呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代      東晋 317-420

北朝 439-589      南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼      北宋 960-1127

金 1115-1234      南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



て  
三  
国  
志  
は  
い  
つ  
ご  
ろ  
、  
ど  
の  
よ  
う  
に  
し  
な  
っ  
た  
の  
か  
？

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265      蜀 221-263      呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代      東晋 317-420

北朝 439-589      南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼      北宋 960-1127

金 1115-1234      南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

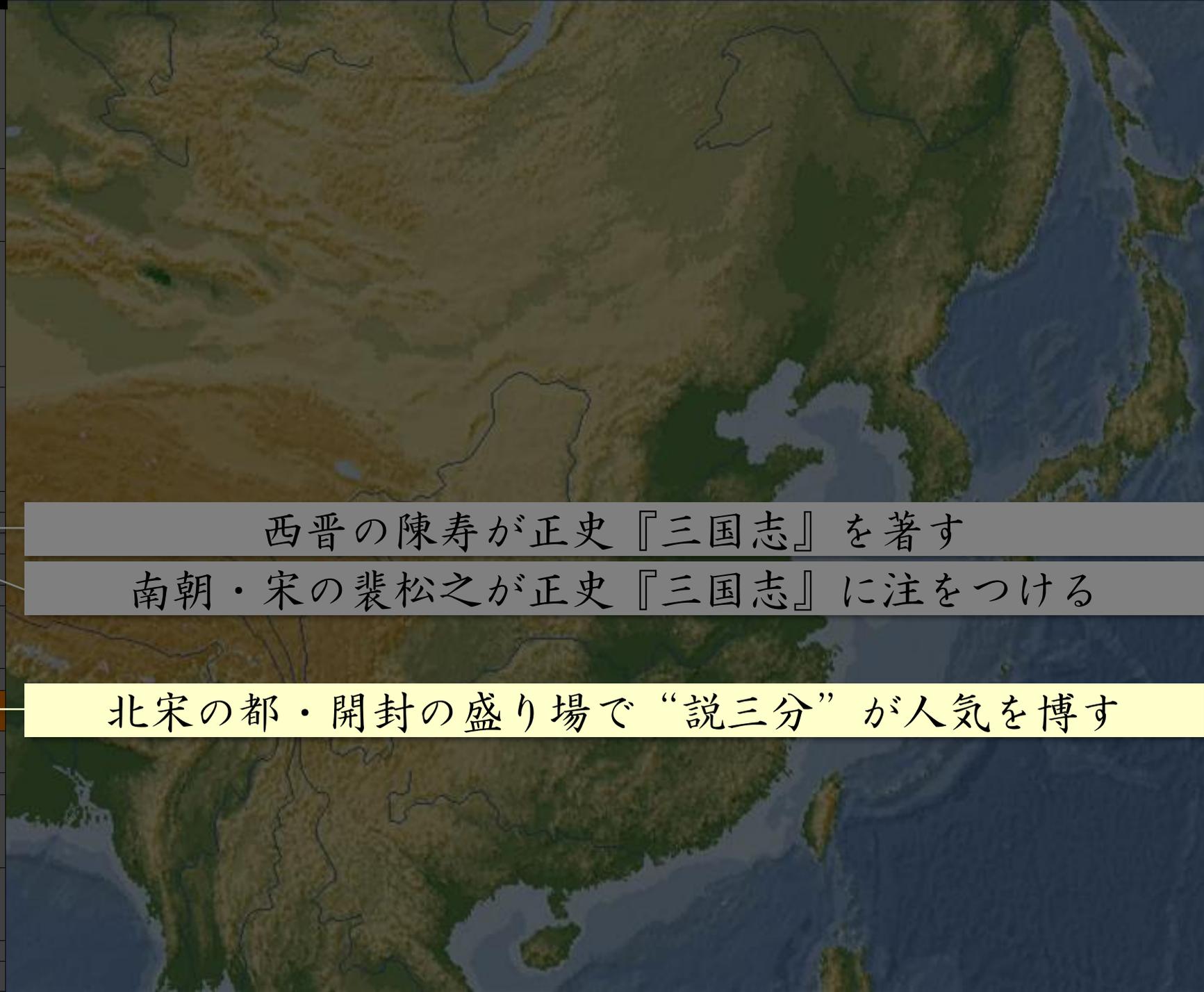
中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

西晋の陳寿が正史『三国志』を著す

南朝・宋の裴松之が正史『三国志』に注をつける

北宋の都・開封の盛り場で“説三分”が人気を博す



A topographic map of East Asia, showing the Korean Peninsula, China, and the Japanese archipelago. The map uses color to represent elevation, with greens for lower elevations and yellows/browns for higher elevations. A large yellow question mark is centered over the region of central China. A white rectangular box highlights a specific area in central China, roughly corresponding to the location of the Song Dynasty capital, Kaifeng. The text on the left is in white vertical characters.

北宋の都・汴京(現在の開封)は、商業都市として庶民の文化が栄えていたが、もとは都が置かれるような場所ではなかった。それはなぜか？

# 汴京(開封)とは？

長安

洛陽

北宋の都・汴京(開封)



資料映像：NHKスペシャル「故宮」より（3:54）

# 南北をつなぐ物流の拠点・汴京(開封)

長安

洛陽

通済渠

北宋の都・汴京(開封)



1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265      蜀 221-263      呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代      東晋 317-420

北朝 439-589      南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼      北宋 960-1127

金 1115-1234      南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

# “説三分”とは？

西晋の陳寿が正史『三国志』を著す

南朝・宋の裴松之が正史『三国志』に注をつける

北宋の都・開封の盛り場で“説三分”が人気を博す

呼豎子狂言非至公迺知太白亦誤認嗣宗語與先友之意無異也嗣宗雖放蕩本有意於世以魏晉間多故故一放於酒何至以沛公爲豎子乎

王彭嘗云塗巷中小兒薄劣其家所厭苦輒與錢令聚坐聽說古話至說三國事聞劉玄德敗顰蹙有出涕者聞曹操敗卽喜唱快以是知君子小人之澤百世不斬彭愷之子辜式吏頗知文章余嘗爲作哀辭字大年

脩養

已饑方食未飽先止散步逍遙務令腹空當腹空

時卽便入室不拘晝夜坐卧自便惟在攝身使如木偶常自念言今我此身若少動搖如毛髮許便墮地獄如商君法如孫武令事在必行有犯無恕

## 北宋時代の三国志講釈

「王彭からこんな話を聞いたことがある。近所にひどく腕白な子供がいて、手を焼いた家の人、子供たちに小遣いを与え、集めて説古話（講釈）を聞かせた。三国時代の話になると、劉備が敗れる場面では眉を顰めて涙を流し、曹操が敗れる場面では喜んで喝采を送ったという。」

（宋）蘇軾 東坡志林（東坡全集卷一百一所収）

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

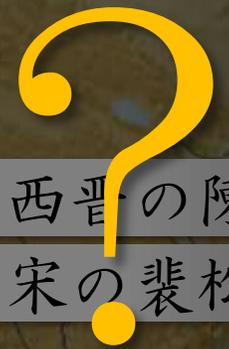
元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-



宋元時代の三国志講釈を知ることがあるのか？

西晋の陳寿が正史『三国志』を著す

南朝・宋の裴松之が正史『三国志』に注をつける

北宋の都・開封の盛り場で“説三知”が人気を博す

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

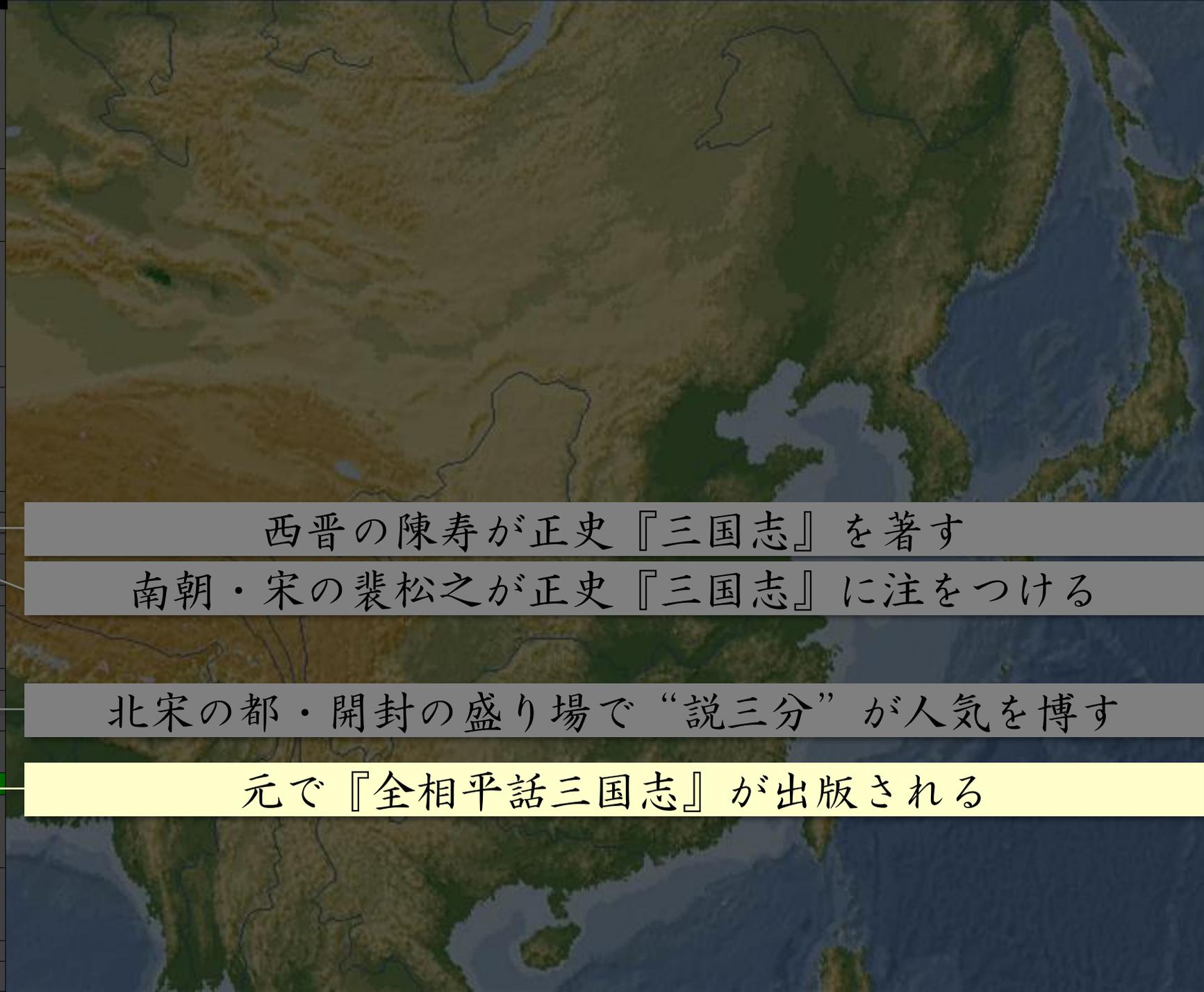
中華人民共和国 1949-

西晋の陳寿が正史『三国志』を著す

南朝・宋の裴松之が正史『三国志』に注をつける

北宋の都・開封の盛り場で“説三分”が人気を博す

元で『全相平話三国志』が出版される



建安虞氏新刊



新全相三

國志平話

至治新刊

至治新刊全相平話三國志卷之上

以東吳蜀地川

曾操英勇占中原

昔日南陽鄧州白水村劉秀字文叔帝號為漢光武

皇帝光者為日月之光照天下之明武者是得天下

心此有號為武帝於洛陽建都在位五載當日駕因

開遊七御園至園內花木奇異觀之不足駕問大臣

此花園屬王莽之相近臣奏曰非干王莽事是逼

迫於民終買我後處殺東都洛陽之民

博寡入聖奇來日是二月三日清明節

一處賞花至次日自往都下開內官

忽有一書生白眉角帶紗帽烏靴左手

持一書一書手將有左錄一副書名卷劍書箱米御

園中遊覽來得晚了些个都散了其餘五處坐地

才往前行數十步見校尉與相向那校尉

### 全相平話三國志

〔解説〕

元の至治年間(一三二一〜三)に建安

(現在の福建省建甌)で刊行された歴史

白話小説の一。「全相」とはすべて

の頁に挿絵が入っていることを指す。

北宋の都・開封で語られていた

「説三分」など、初期の三國志物語

の姿をいまに伝える資料。

建安虞氏新刊



新全相三  
國平話

劉

刘

至治新刊全相平話三國



全相平話三國志

〔解説〕

『全相平話三國志』の「平話」と

は、講釈の口調を借りて書かれた白話小説のこと。庶民向けの通俗書として出版されたため、漢字には平易な簡体字が多用されている。(□内の字参照)

建安虞氏新刊



新全相三

國志平話

至治新刊

至治新刊全相平話三國志卷之上

以東吳王蜀地川

曾操英勇占中原

昔日南陽郡州白水村劉秀字文叔帝號為漢光武

皇帝光武自月之光照天下之明武者是得天下

此花開... 武於洛陽建都在位五載當日駕因

博寡入聖昔來日是二月三日清明節... 黃榜

秀人共黎民一処賞花至次日百姓都在兩園內賞

花各以亭館忽有一書生白潤角帶紗帽烏靴左手

持酒一壺右手持扇... 才往前行數十步見林屏與柏向那綠草... 上放下酒壺危盤解下琴劍書箱才坐定將酒傾

全相平話三國志はどこで発見され、

現在どこに保存されているのか？

建安虞氏新刊



新全相三

國志平話

至治新刊

至治新刊全相平話三國志卷之上

以東吳蜀地川

曾操英勇占中原

不是三人分天下

朱報高祖斬首究

昔日南陽鄧州白水村劉秀字文叔帝號為漢光武  
皇帝光者為日月之光照天下之明武者是得天下  
此有號為武帝於洛陽建都在位五載當日駕因  
閉遊七御園至園內花木奇異觀之不足駕問大臣  
此花園屬王莽之相近臣奏曰非干王莽事是逼  
迫於民終買我後處殺東都洛陽之民  
博寡入聖奇來日是二月三日清明節  
秀人共黎民一処賞花至次日自往都下園內賞  
花冬の亭館忽有一書生白眉角帶紗帽與龍左手

日本で発見された最古の三國志

全相平話三國志は、大正時代に日本の内閣文庫で発見された。

現在、国立公文書館が所蔵する旧内閣文庫蔵『至治新刊全相平話三國志』（写真）と、天理図書館が所蔵する『至元新刊全相三分事略』の二種が存在する。

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

西晋の陳寿が正史『三国志』を著す

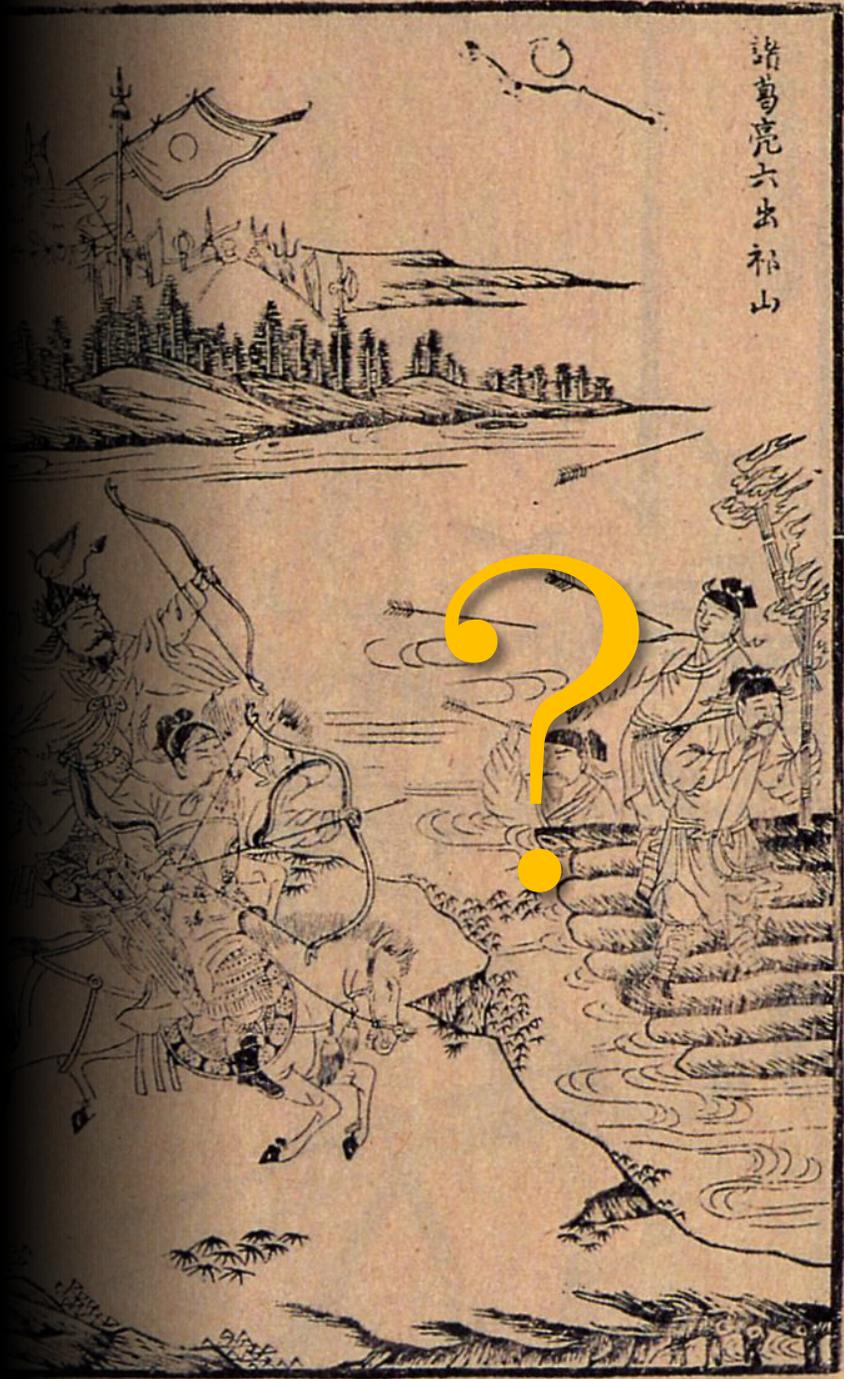
南朝・宋の裴松之が正史『三国志』に注をつける

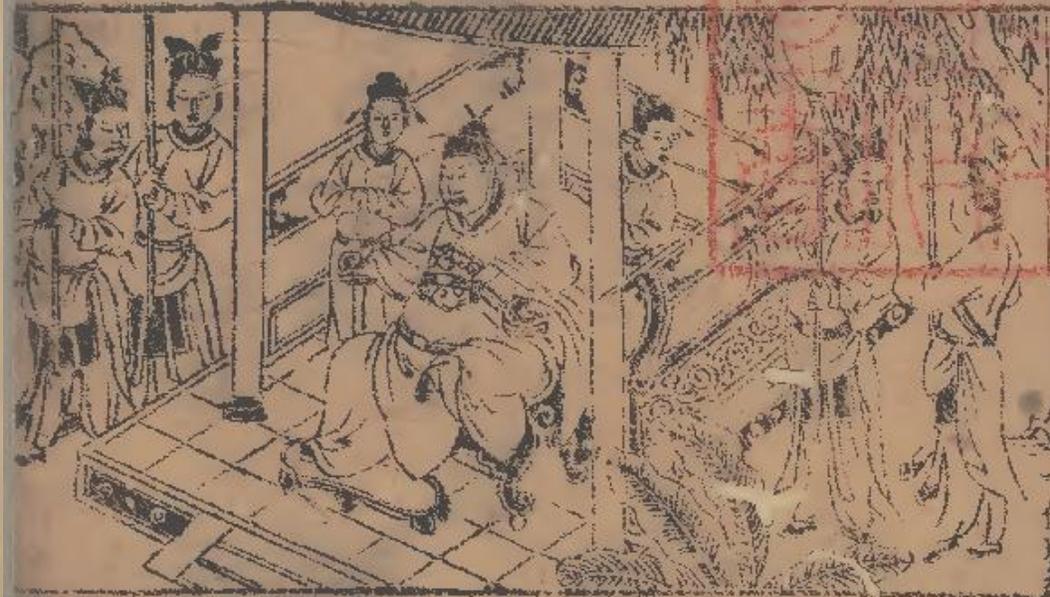
北宋の都・開封の盛り場で“説三分”が人気を博す

元で『全相平話三国志』が出版される

明で羅貫中が『三国志通俗演義』を著す

元代の『全相平話三国志』と明代の『三国志演義』の違いは？





### 全相平話三國志

—司馬仲相の冥界裁判

今日、広く読まれて  
いる『三國志演義』と  
は異なり、宋・元代の  
原初的な三國志講釈の  
姿を伝える『全相平話  
三國志』は、仏教の因  
果応報と輪廻の思想の  
もとに物語が構成され  
ている。物語の梗概は  
次の通り。

.....

ときは一世紀初め。

漢王朝を復興した後漢  
の光武帝は、王朝の再  
興を祝うため、清明節  
の日に市民に御園を開  
放し、盛大な花見を開  
いていた。



十八年後有南陽鄧州白水村劉復奪天下把王莽發了見在交會帝即位宰相兼有二十八宿四斗武是紫微大帝天无二日民无二主其兵將拜起元帥怎生乾休仲相八人奏曰陛下試下九龍椅木我

### 全相平話三國志

司馬仲相の冥界裁判

そこに司馬仲相(上図中央右)という一人の書生が登場する。

御園の中で酒を飲みながら史書を読んでい た司馬仲相は、秦の始皇帝の焚書坑儒の下りを読んで溜息をつき、思わず天帝の愚かさをなじってしまふ。

「もしも私が皇帝だったら、天下の人々を幸福にできるのに」

善其姓命有比究屈陛下与臣等

天差仲相作陰君



十八年後有南陽鄧州白水村劉復奪天下把王莽發了見在交會帝即位宰相兼有二十八宿四斗武是紫微大帝天无二日民无二主

### 全相平話三國志

司馬仲相の冥界裁判

すると夢に天帝の使  
い(上図中央左)が現れ、  
司馬仲相を冥界に連れ  
て行く。

天帝は司馬仲相を冥  
界の天子とし、そこで  
ある訴えを裁くよう命  
じる。公正な裁きがで  
きれば、現世に帰して  
望みどおり皇帝にして  
やろう。しかし、もし  
公正な裁きができなけ  
れば、二度と現世へは  
帰さない。

こうして司馬仲相の  
冥界裁判が始まる。

善其姓命有比究願陛下与臣等



仲相断法問公事



呂太后

三國上

問八人漢高祖在何處八人奏曰  
曰依卿所奏八人傳聖旨宣漢高  
下俯伏在地帝問高祖三人狀告  
布立起漢朝天天下執謀二人道友  
理高祖奏曰雲夢山有方士之景  
國三人也

### 全相平話三國志

司馬仲相の冥界裁判

高祖聖旨  
聲一訴えを起こしたのは、  
漢王朝の開国の功臣、  
韓信、彭越、蒯徹、英  
布。訴えを受けたのは、  
漢の高祖・劉邦と呂后  
であつた。

韓信らはいずれも漢  
王朝の建国後、高祖・  
劉邦と呂后の謀略に陥  
れられ、非業の死を遂  
げていた。

司馬仲相は原告・被  
告双方の証言を聞いた  
上で、天帝に次のよう  
な裁きを上奏する。

問三次大臣无語齊王大怒旨上  
大夫如何不解此事与卿三日限  
不朝三日并知婦老悶不沈有  
大夫面帶憂容遂問大夫因何不  
不知今天下銅鉄以自鳴有君王問

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民國 1912-1949

中華人民共和國 1949-



漢の高祖が韓信ら開国の功臣を肅清

司馬仲相が天帝の命を受け、冥界裁判

蜀地川  
又分天下  
州白水村刘秀字文叔帝號高祖漢光武  
日月之光照天下之明武者是得天下  
武帝於洛陽建都之位五載當日駕因  
至園內花才奇異觀之不足駕問大臣  
義接處殺東都洛陽之民  
東日是一月三日清明節  
忽有一書生白鬚角帶紗帽烏靴左手  
手持首尾錄一副背負琴劍書箱來御  
得曉了些个都了得館不效聖地秀  
十步見松屏風相向那錄年二抄兩  
尾盤解下琴劍書箱秀才坐定將酒傾  
飲而渴連飲二鉢數指知早酒帶半酣

新全相三  
至治新刊  
國志平話



仲相断法問公事



呂太后

三國上

# 全相平話三國志

司馬仲相の冥界裁判

被告である漢の高

祖・劉邦は、後漢最後

の皇帝献帝となって国

を奪われる。

韓信を殺すよう高祖

に進言した呂后は、伏

皇后に生まれ変わり、

韓信の生まれ変わりで

ある曹操に殺される。

彭越は劉備、英布

は孫権に生まれかわっ

て、曹操とともに漢の

天下を三分する。

韓信の参謀であった

蒯徹は諸葛孔明となっ

て劉備を助ける。



仲相断法問公事



呂太后

三國上

全相平話三國志

司馬仲相の冥界裁判

司馬仲相はこの裁判を見事に裁いた功績により、司馬仲達に生まれ変わって西晋を建て、

天下を統一する。

しかし、その西晋もやがて五胡十六国時代の漢の第三代皇帝・劉聡によって滅ぼされ、輪廻転生が一巡したところ、物語が終わる。

問八人漢高祖在何処八人奏曰曰依卿所奏八人傳聖旨宣漢高下俯伏在地帝問高祖三人狀告布立起漢朝天下一執謀三人道及理高祖奏曰雲夢山有万子之景國三人並不反与不反之旨大太后歿下山而申帝問太后你權故殺功臣尔當何罪太后有住高掌握山河社稷子童奏陛下今日

何寡司馬仲相の冥界裁判

子童人

補其功

為曹

王

權

取

聰

輪廻

公断

問大

曰自

位銅

問三

大夫

不朝

大夫

不知



1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

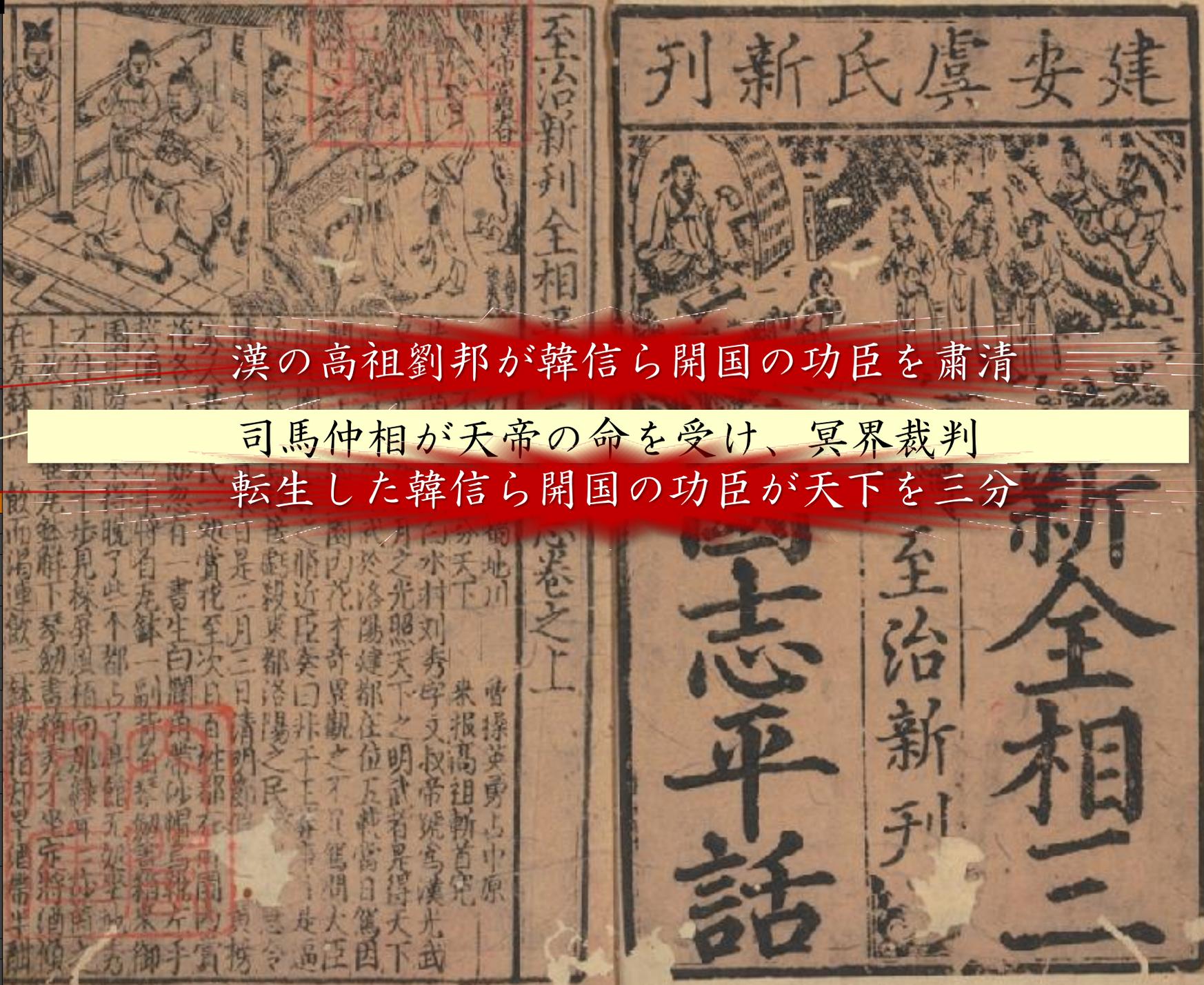
元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民國 1912-1949

中華人民共和國 1949-



漢の高祖劉邦が韓信ら開国の功臣を肅清

司馬仲相が天帝の命を受け、冥界裁判

転生した韓信ら開国の功臣が天下を三分

新全相三  
至治新刊  
志平話

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

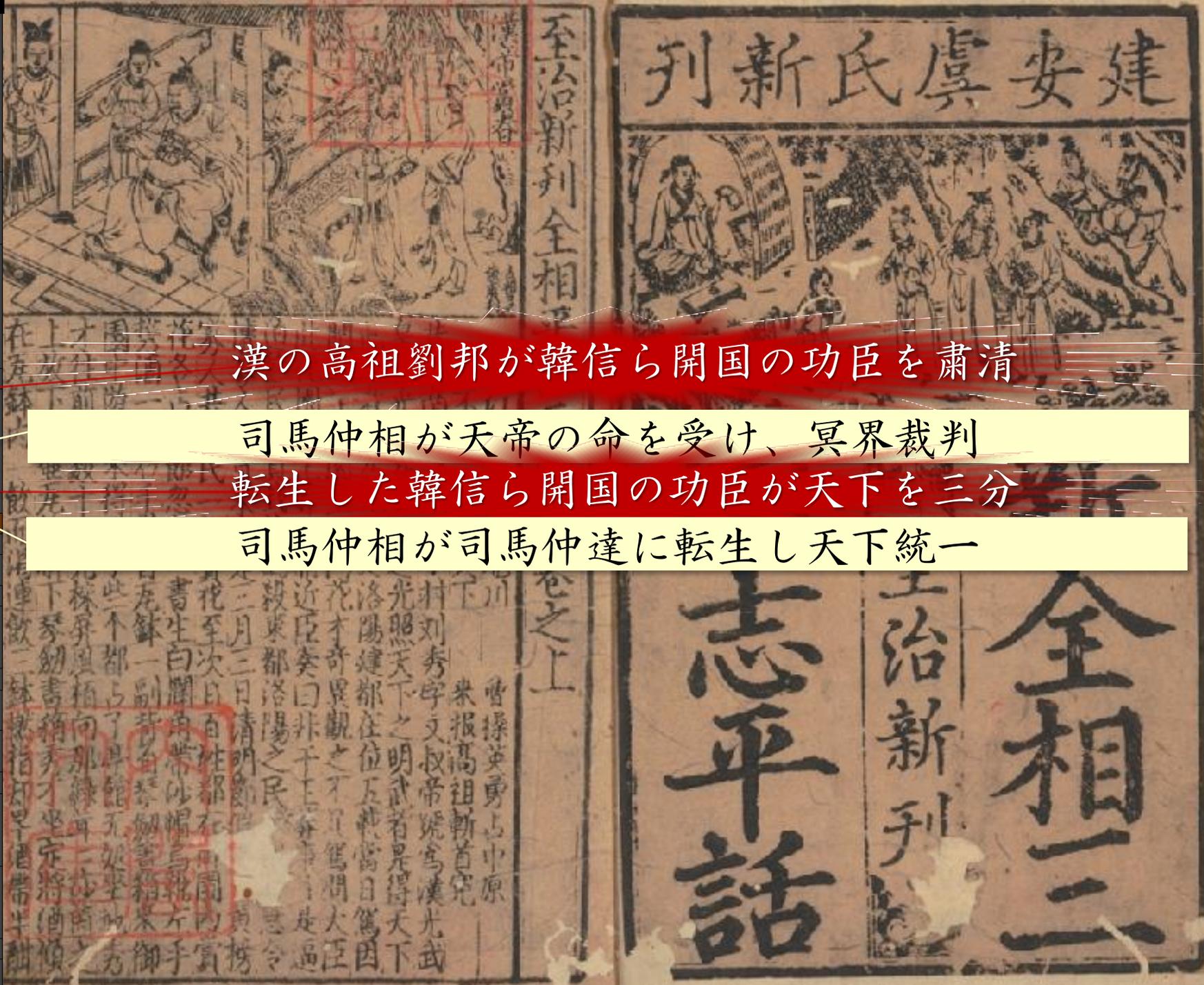
元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民國 1912-1949

中華人民共和國 1949-



漢の高祖劉邦が韓信ら開国の功臣を肅清

司馬仲相が天帝の命を受け、冥界裁判

転生した韓信ら開国の功臣が天下を三分

司馬仲相が司馬仲達に転生し天下統一

1600BC  
1500BC  
1400BC  
1300BC  
1200BC  
1100BC  
1000BC  
900BC  
800BC  
700BC  
600BC  
500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280  
晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

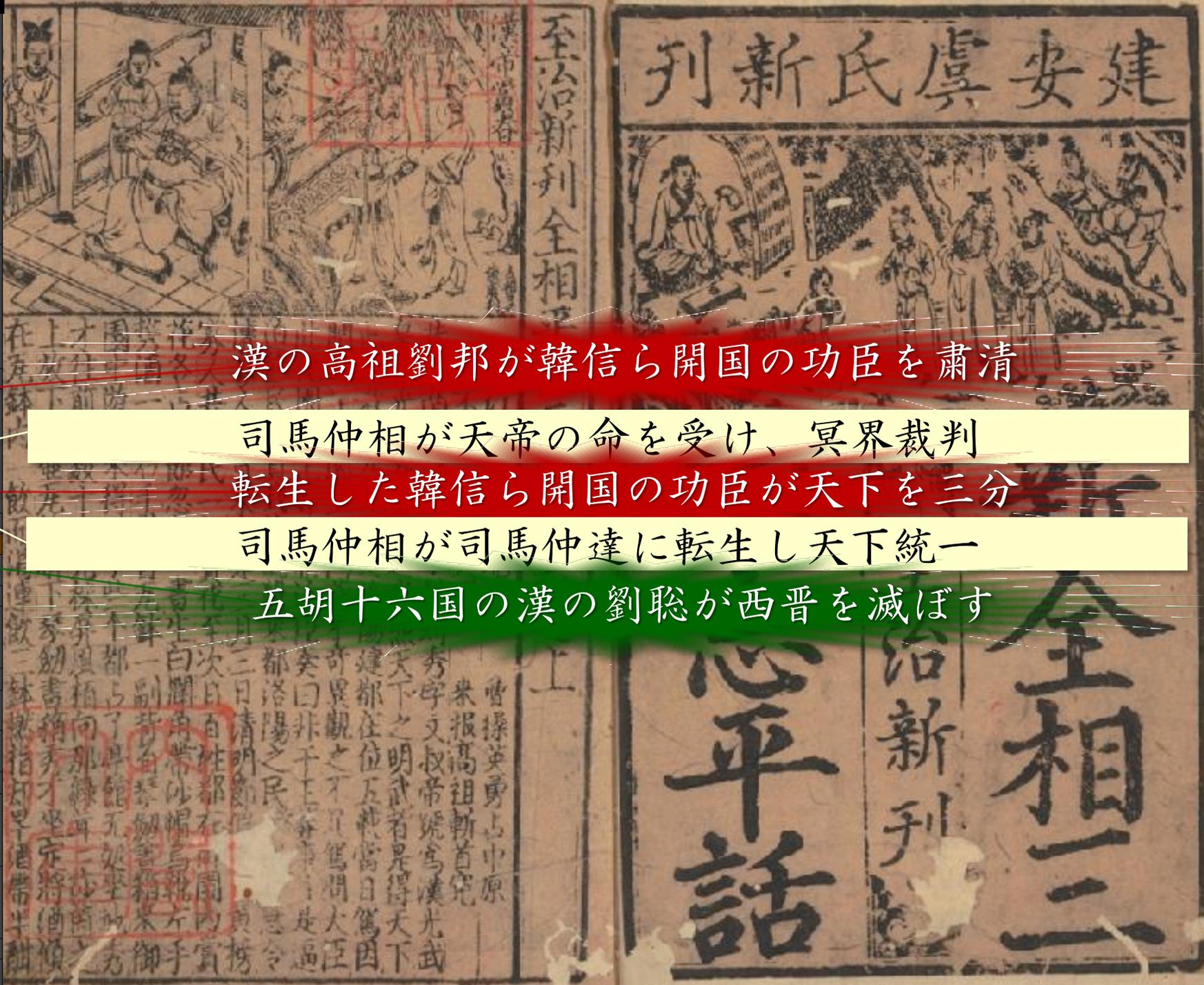
元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中华民国 1912-1949

中华人民共和国 1949-



漢の高祖劉邦が韓信ら開国の功臣を肅清

司馬仲相が天帝の命を受け、冥界裁判

転生した韓信ら開国の功臣が天下を三分

司馬仲相が司馬仲達に転生し天下統一

五胡十六国の漢の劉聡が西晋を滅ぼす

500BC  
400BC  
300BC  
200BC  
100BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280  
晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420  
北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民國 1912-1949

中華人民共和國 1949-



閉八ノ  
曰依卿  
下俯伏  
布立却  
理高祖  
國三人  
太后怒  
故殺之  
掌擇  
高祖聖  
聲三人  
何寡人  
中害其  
三人不  
子童之  
通陛下  
曰三人  
一齊休  
斬諸侯

西晋の陳寿、正史の三国志を著す

劉宋の裴松之、正史三国志に注をつける

仏教の因果応報・輪廻転生思想

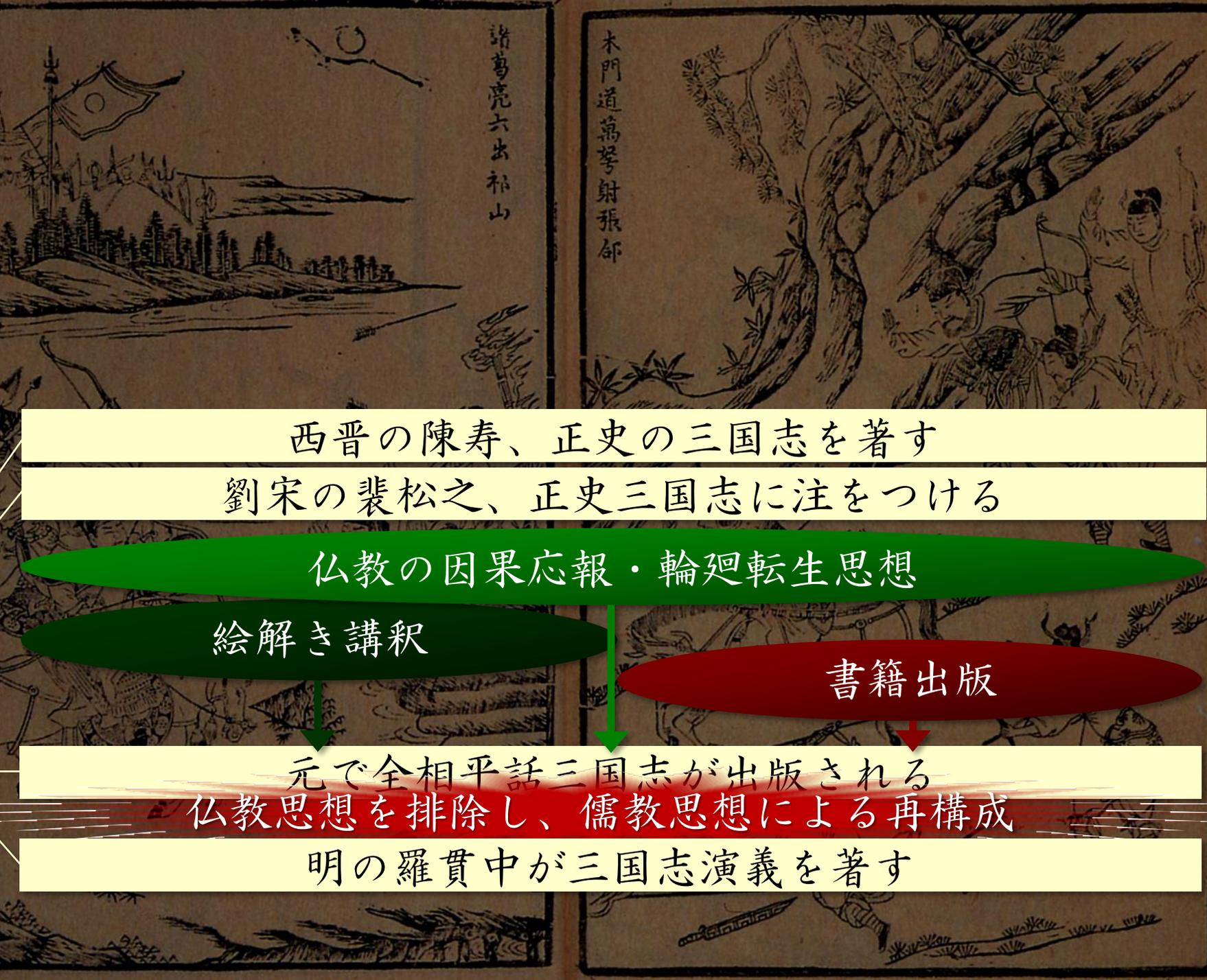
絵解き講釈

書籍出版

元で全相平話三国志が出版される

當傳宣詔  
移時宣至階  
韓信彭越英  
姓名是何道  
去來呂后權  
見端的宣至  
謀三人造反  
陛下不為君  
也所不權樂  
暗嗚叱咤之  
竟來寡人柰  
二人賺入宮  
妾帝問高祖  
曰陛下非是  
姓蒯名揚字  
下臣禮畢  
曰有詩為証  
如帶捲旗趙  
九正定呂后  
相記漢高祖  
韓信分中原  
江東長沙吳  
后為伏皇后  
報讎江東孫  
人和劉備索  
濟州為琅琊  
生於南陽鄧  
會之処共立  
餘年交仲相  
獨霸天下天  
銅鉄皆鳴駕  
用松出班奏  
齊王天子即  
嗎上何吉凶  
毋卿你為上  
見吉凶齊王  
先生見荆卿

3000BC  
2000BC  
1000BC  
0  
100  
200  
300  
400  
500  
600  
700  
800  
900  
1000  
1100  
1200  
1300  
1400  
1500  
1600  
1700  
1800  
1900  
2000



西晋の陳寿、正史の三国志を著す

劉宋の裴松之、正史三国志に注をつける

仏教の因果応報・輪廻転生思想

絵解き講釈

書籍出版

元で全相平話三国志が出版される

仏教思想を排除し、儒教思想による再構成

明の羅貫中が三国志演義を著す

## まとめ

唐宋変革期を経て、中国は貴族の時代から庶民の時代へと変貌を遂げる。

文学の主体が貴族から庶民へと移る中、人気を集めていたのが三国志の物語である。

正史『三国志』は無味乾燥な史実の記録に過ぎなかったが、人物のエピソードを紹介した注釈から多くの興味深い素材が提供され、仏教思想と絵解き講釈の影響を受けた『全相平話三国志』が誕生した。

モンゴルを駆逐し、漢民族の王朝を復興した明代には、仏教から儒教へとという思想的転換が図られ、中国を代表する通俗小説『三国志演義』が成立した。

## 参考文献

■ 小川環樹 「三国演義発展のあと」  
（中国小説史研究、岩波書店、一九六八年）

■ 立間祥介訳 『全相三国志平話』（潮出版社、二〇一一年）